

# izu mi

[ 茨城県メディカルセンター広報誌・いずみ ]



ますます充実するIMCの人間ドック

最新鋭「マルチ高速らせんCT」導入

**肺がん検診**

ライフスタイルの変化で重要性が増す

**婦人健診**

21  
2003.1



## さらなる充実を目指して

年頭にあたり、新年の御祝詞を申し上げますと共に、茨城県メディカルセンターへのごとの深い御理解と多大な御協力に、心から感謝申し上げます。お陰をもちまして、順調に成果をあげ、事業の発展を遂げており、昨年にはCT機器の導入、本年は骨密度測定機器の新規導入を図り、県民の皆様をはじめ受診者の皆様に、一層満足して戴ける健診・検診を御提供し、施設の充実に努力していく所存でございます。

ご周知のように、勤労者の生活習慣病の増加が、日増しに叫ばれるようになり、当センターの健診・検診の業務の必要性が増しているところであります。「人間ドック」を標榜する健診を主として実施する“総合健診部門”或は、会社・事業所・学校などに、検診車を派遣し、直接職場に出張して行う健診を主とする“健診普及部門”そして“公共事業部門”として視聴覚検診や医療情報を県民に提供する救急医療情報コントロール事業など、幅広い業務を行っています。

当センターでは、受診される皆様の御要望にお応えするため、自由に選択して戴けるような検査項目も設定しており、また「人間ドック」関連では、昨年、がん検診に大いに寄与する機器としてCT検査機器を導入し、出張健診関連でも、上部消化管X線検査に、小画面の間接撮影と大画面の直接撮影を1台で処理出来る新しい検診車を整備いたしました。今年はその上、胸部X線検査と共に、上部消化管X線検査が1台の車で処理出来るよう、新鋭検診車の新規導入を図る予定であります。他にも、陳旧となった幾つかの検査機器を更新し、最新機器に変えて、精度の向上に努めているところであり、皆様方には十分満足して戴けるものと思っております。

新年早々、手前勝手なことを申し上げましたが、更なる、御愛顧・御活用をお願い申し上げますと共に、皆様方の御健勝・御多幸を祈念し、会社・事業所の益々の御発展をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

茨城県メディカルセンター所長

柴崎 信悟



# 肺がん検診を身近に

日本人の肺がんによる死亡率は年々増加しています。肺がんは、自覚症状がないため発見が遅れることが多く、それが死亡率を高めている原因のひとつです。早期発見するには、定期的な検診が欠かせません。茨城県メディカルセンターでは、従来の「胸部X線検査」に加え、最新鋭の「マルチ高速らせんCT」による胸部検査と「喀たん細胞診検査」を実施し、肺がんの早期発見につとめています。

ますます充実する  
IMCの人間ドック

肺がん検診  
婦人健診

## 肺がんは自覚症状のないまま進行します

日本国内の肺がんによる死亡率は年々上昇する傾向にあります。男性では、がんによる死亡率のなかで肺がんが最も多く約22%を占め、女性でも胃がん（全体の15%）に次いで2位となり約13%に上っています。

肺がんは喫煙と深い関係があります。たばこを1日20本以上吸う人が肺がんにかかって死亡する確率は、たば

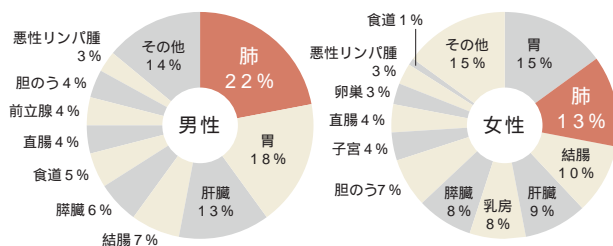
こを吸わない人の約10倍になると言われています。

肺がんによる死亡率が増加傾向にある理由のひとつに、この病気の多くが無症状であることがあげられます。自覚症状がないまま進行してしまうため、発見したときにはがんが進行し、他に転移してしまっていることも多いのです。早期に発見することさえできれば、リンパ節に転移する前にがんを取り出すことができ、治癒する確率も格段に高くなります。

茨城県メディカルセンターでは、平成14年から最新鋭の「マルチ高速らせんCT」を導入し、精度の高い胸部検査を実施しています。この検査は人間ドックのオプションとして受診できるほか、「肺がんドック」（胸部のみの単独検診）としても受診可能です。

特に左下の項目にあてはまる方には、CTによる胸部検査を受診し、肺に異常がないかどうか、定期的に調べられることをお勧めします。

臓器別がん死亡率の割合



「厚生労働省統計情報部 人口動態統計」より抜粋（平成12年度）

特にこのような方に肺がん検診をお勧めします。

喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600を越える。  
普段から咳がでる、たんがでる、深呼吸すると胸が痛い。  
親、祖父母、兄弟姉妹に肺がんにかかった方がいる。  
結核（リンパ節炎、肺浸潤）と言われたことがある。



## マルチ高速らせんCT検査は わずか10秒で終了

ここで、最新鋭の「マルチ高速らせんCT」による胸部検査と特徴についてご説明しましょう。

まず検査の所要時間ですが、わずか10秒ほどです。10秒間息をとめて横になっているだけで検査は終了します。痛みはまったくありません。検査時間を大幅に短縮し受診者の負担を大きく軽減したことが、「マルチ高速らせんCT」の特徴のひとつです。また、被曝線量低減にも努めています。

速さだけではなくありません。「マルチ高速らせんCT」

ますます充実する  
IMCの人間ドック

## 肺がん検診 婦人健診



マルチ高速らせんCT検査風景

デジタル画像データによる読影風景

は、文字通り「らせん状」に受診者の身体を連続撮影していきませんが、これにより身体内部の情報を豊富に得ることができるようになりました。それらの情報をコンピューターで解析することで、身体内部の様子を3次元画像として再現することが可能になったのです。センターでのCTは高分解能CTとしても使用でき、2次元のX線写真ではわかりづらかった対象の奥行きや上下関係なども、「マルチ高速らせんCT」胸部検査では、かなり正確に把握できるようになりました。現在では、5mm大の微細な病変を発見し、その位置をほぼ特定することが可能です。

このように、「マルチ高速らせんCT」胸部検査は、受診者にほとんど負担をかけずに、精度の高い結果を得られる優れた検査です。肺の健康を保つため、1年に1度、定期的に受診されることをお勧めします。

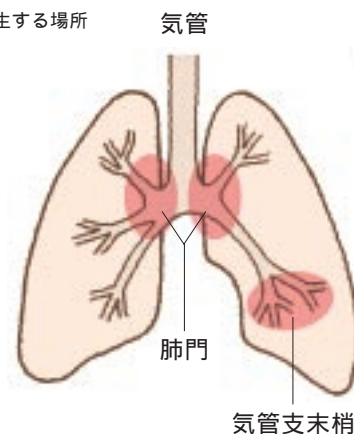
なお、内臓など身体の内側の状態を把握する際には、複数の検査結果を総合して判断することが重要です。胸部においては、CT検査のほか、「胸部X線検査」や、「喀たん細胞診検査」を併せて受診することで、なおいっそう確実な検査結果を得ることができます。

## 影が映りにくい肺門部肺がんは 「喀たん細胞診検査」で早期発見を

肺がんには、肺の奥の方の末梢の細い気管支にできる「末梢部肺がん」と、肺の入り口に近い肺門部の太い気管支にできる「肺門部肺がん」とがあります。前者は、胸部X線検査で発見が可能ですが、後者は、X線写真に異常な影をしめさないことがあります。この肺門部肺がんを発見するには、たんの中の細胞を調べる「喀たん細胞診検査」が有効です。

特に、50歳以上で喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上の方には、喀たん細胞診検査をお勧めします。

肺がんの発生する場所



# 婦人健診を受診しましょう

ますます充実する  
IMCの人間ドック

**肺がん検診  
婦人健診**

食生活の欧米化や女性のライフスタイルの多様化により、婦人健診の重要性が増えています。

婦人健診には「子宮検診」と「乳房検診」があります。どちらも1日人間ドックのオプション検査として受診できます。乳房検診は単独の「乳がんドック」としても実施しています。



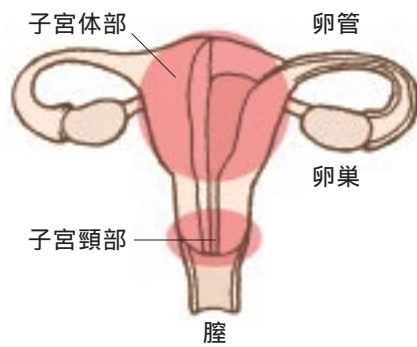
## 子宮検診

子宮がんには、子宮の入り口付近にできる「子宮頸がん」と、体部にできる「子宮体がん」があります。なかでも多く見られるのが子宮頸がんです。

一般的に子宮がんは、早期に発見すればかなりの高確率で治癒し、再発や転移の可能性も非常に低いものです。

ただし、子宮頸がんは、初期段階における症状がほとんどないため、早期に発見するには定期的な検診が欠かせません。

子宮がんの発生する場所



子宮頸がんへの変化は、通常は比較的ゆっくりで、前がん状態から通常5～10年かけてがん化が進みます。子宮検診を年に1回、定期的

に受診していれば、万が一がんが発生しても前がん状態や初期がんのうちに発見し治療することが可能です。

子宮検診は下記に示したような流れで行います。検査にかかる時間は通常5分程度、長くても10分以内です。当センターでは、どの世代の女性にも安心して検査を受けていただける環境づくりに努めています。子宮がんの予防と早期発見のため、定期的な検診をぜひ習慣づけましょう。

### [ 子宮検診の流れ ]

- 1.問診** 出産履歴や既往歴、気になっている点などを医師が伺う。
- 2.細胞診** 子宮頸部を綿棒で擦過（軽くこすること）し、細胞を採取して顕微鏡で診断。
- 3.内診** 手動的に子宮および付属器（卵巣、卵管）の病変があるかどうか診察。（双合診）
- 4.超音波による精査** 超音波を使って子宮および付属器の病変があるかどうかを画像診断。（問診・内診で異常のある方のみ）

## 乳房検診・乳がんドック

交通事故による死者数は年間約9000人、乳がんによる死亡も年間約9000人と同数です。そのうち女性は約99%を占めますので、乳がんにより命を落とす確率は交通事故の2倍と考えなくてはなりません。さらに、乳がんの発症はその4倍で年間約32000人と推定されています。いつもお子さまには“車に注意してね”というように自分自身の体にも気をつけましょう。

どうして乳がんは増えているのでしょうか？

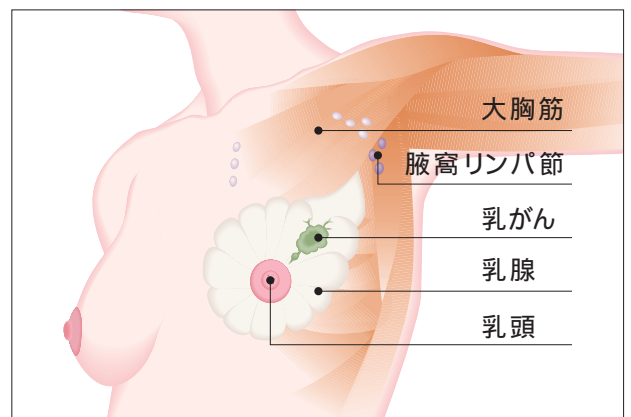
乳がんの発症を促すのは女性ホルモンのひとつであるエストロゲンです。エストロゲンは私たちが美しくします。このエストロゲンが多くなるもとは“高タンパク、高脂肪の食事”、“少産、高年齢出産”などです。まさに私たちのライフスタイルそのものです。

美しくなった私たちが乳がんから護るにはどのようにすればよいのでしょうか？

出産歴は変化させることはできませんのでひとつには食事の摂生でしょう。ただし、摂生しすぎると他の病気の発生を促しますのでほどほどにバラエティに富んだ食事としましょう。

次に予防できなかった乳がんから身を護るにはどのようにしますか。

乳がんは組織に馴染んで静かに発育します。そのため症状はありません。気がついたときには2cm以上になっていることは少なくありません。常日頃の自己検診が重



要です。自分自身の乳房をよく観察し、乳房の状態を憶えた後に月に1回は行いましょう。

もっと早期に発見するにはどのようにすればよいのでしょうか。

年に1回の検診を受けましょう。私たちは乳がんの早期発見の専門集団として努力してまいりました。視触診、マンモグラフィ、超音波を併用した集学的な検診を行っています。発見率は0.21%、早期乳がんは90%、非触知乳がんは40%となっています。私たちにお任せ下さい。



[ 乳房検診の流れ ]

- 1. 問診** 既往歴、気になる点などを伺います。
- 2. 自己触診** この機会にもう一度ご自分の乳房を触ってみましょう。しこりのある方はマンモグラフィの撮影時に申し出て下さい。しこりの大きさによってはマンモグラフィを撮影いたしません。
- 3. マンモグラフィ（乳房X線撮影）** しこりは白く、石灰化は粉状に描出されます。放射線技師が午前中に撮影し、午後には医師が読影いたします。2年に一度の検査です。2年以内に他の病院等でこの検査を受けられた方は申し出て下さい。不必要な被曝は避けましょう。
- 4. 視触診** 医師が行います。
- 5. 超音波** しこりは黒く描出されます。被曝はありません。臨床検査技師が事前に検査し、その後に医師が診断いたします。
- 6. 乳頭分泌物の検査** 分泌物の有無をみ、場合によっては分泌物の検査を行います。
- 7. 穿刺吸引細胞診** がんが否定できないときには細い針で細胞を吸引し、顕微鏡で観察します。

肺がん検診と婦人健診の料金について

肺がん検診と婦人健診は、「人間ドックのオプション検査」として受診できます。

「単独ドック」としても実施しています。

子宮検診は1日人間ドックのオプションのみとなります。単独では実施しておりません。

1 1日人間ドックのオプションとして受診する場合

総合健診		
身長、体重、BMI、体脂肪率 / 視力 / 聴力 / 心電図検査 / 眼底検査 / 眼圧検査 / 血圧測定 / 胸部X線検査 / 上部消化管X線検査 / 肺機能検査 / 腹部超音波検査 / 尿検査 / 便潜血検査 / 血液検査 / 医師による総合判定・生活指導		<b>39,000円</b>
1日人間ドック	「オプション検査」1日人間ドックに付加できる検査です	
	胸部CT検査 マルチ高速らせんCT検査	<b>8,000円</b>
	喀たん細胞診検査	<b>2,600円</b>
	婦人健診	
	子宮検診 細胞診、内診、経膈超音波（問診・内診で異常のある方のみ）	<b>8,000円</b>
	乳房検診 マンモグラフィ（医師の判断により、省略することもあります）、超音波、視触診	
	前立腺がん検査	<b>2,200円</b>
	体力測定	<b>4,000円</b>

2 単独ドックとして受診する場合

単独ドック	肺がんドック	<b>15,000円</b>
	胸部X線直接撮影、胸部CT検査、喀たん細胞診検査	
単独ドック	乳がんドック	<b>7,200円</b>
	マンモグラフィ（医師の判断により、省略することもあります）、超音波、視触診	

税別

# IMC news

## 「全館禁煙」になりました

茨城県メディカルセンターでは、県民の皆様様の健康を保持増進する立場から、平成14年10月1日より、「全館禁煙」を実施し、快適な環境形成を促進しております。喫煙される方は、館外所定場所での喫煙にご協力ください。

## 「レディースデイ人間ドック」のご案内

よりリラックスした雰囲気での健診を望む女性のために、女性専用の「レディースデイ人間ドック」を設けています。

この機会に、ゆったりとした気分で検査を受けてみてはいかがでしょうか。

平成14年度「レディースデイ人間ドック」開催予定日 1月28日〔火〕/2月4日〔火〕・19日〔水〕/3月4日〔水〕・19日〔水〕

## 水戸三中の皆さんが職場体験

平成14年11月21・22日、水戸市立第三中学校の2年生4名が職場体験に訪れ、人間ドックの仕事の流れや、検診バスなどを見学しました。また、総務での事務的な仕事や救急医療機関の電話案内、聴覚検査などを体験し、普段の学校生活とは異なる雰囲気に触れてもらいました。

この体験を今後の学校生活に有意義に活かして下さるよう期待しています。

後日、中学生の皆さんが「職場体験」の感想文を送って下さいましたので、ご紹介します。

メディカルセンターのみなさまへ  
11月21日と22日の2日間、職場体験をさせて頂き、ありがとうございました。  
私達は、今年初めてメディカルセンターで職場体験をすると聞き、最初は期待と不安、緊張でいっぱいでした。でも、会ったときの皆さんの笑顔とあいさつが、私達の緊張をほくしてくれました。

## LAN構築により「ノンフィルム化」へ

平成14年11月から工事を進めていた構内ネットワークLAN構築が完成し、光ファイバーを軸とする通信網がセンター各所に整備されました。

今まで事業部単位で構築されていたパソコンLANを、センター全てのパソコンを対象にひとつのネットワークとして構築したことで、館内どこからでもデータの送受信が可能となり、効率的な運用が図れるようになりました。

このネットワークを利用し、平成14年に導入されたマルチ高速らせんCT装置、腹部超音波装置、胃内視鏡撮影装置等を接続するとともに、今後徐々に更新される胃部X線装置などを計画的に接続し、デジタル画像データの転送・保管を行い、X線写真等のノンフィルム化を図る計画です。

さらに、ネットワーク管理ソフトの導入により、当センター全体の行事予定から個人のスケジュール管理、施設内の設備利用予約、掲示板の利用による情報伝達、各種データの共有、関係文書の閲覧など様々な機能により、これまで困難だった情報の利用が可能となりました。

今後は、健診システム、電子決裁、電子カルテの導入に向けた開発導入を図り、機能的かつ効率的なインフラ整備を推進し、受診者の方々へより迅速に結果データが提供できる環境を整備して参ります。



X線フィルム（上）から、デジタル画像診断へ（右）



## 1日人間ドックでは「時間差受付」をしています

1日人間ドックでは、お客様の待ち時間を軽減し、健診の流れをできるだけスムーズにするため、時間差受付を導入しております。お客様の受付時間は、「健診のご案内」に記載してありますので、ご確認のうえ受診なさってください。

## 「骨粗しょう症検査」の実施

受診者の皆様から多数のご要望を頂いておりました、骨粗しょう症検査を平成15年4月1日より、本格的に開始いたします。詳細については、ホームページ等によりお知らせいたします。

2日間の体験学習は、私達にとって初めて教えてもらうことがほとんどでした。特に、検診車に乗せてもらったときは、初めて乗る検診車や器具などに驚きました。また、インタビューや質問を通して、仕事の忙しさ、大変さ、そして皆さんが仕事を誇りに思っていることなど、たくさんを知りました。分からないことを質問すると、実際にやっていただいたり、分かるようにいろいろと教えてくださいました。

2日間の中で、私達はたくさんを学んだと思います。

メディカルセンターで学んだこと、感じたことなどを、これからの私達の生活や進路学習に役立てていきたいです。

2日間、お世話になりました。本当にありがとうございました。

水戸市立第三中学校  
2年 田口美穂 皆川仁美  
佐々木香織 鬼澤幸穂



職員から説明を受ける生徒の皆さん

## 事業のごあんない

事業の内容	連絡先TEL	お知らせ
[ 総合健診事業 ] 1日人間ドック	029-243-1111	肺がんドック・乳がんドックも実施しています。
[ 健康増進事業 ] 体力測定と指導		人間ドックと併せて受診できます。
[ 産業保健事業 ] 勤労者の定期健康診断と特殊健診	029-243-1113	巡回及び施設で実施しています。
[ 学校保健事業 ] 児童・生徒・教職員の健康診断		
[ 視覚事業 ] 子どもの目の検査と相談・指導	029-241-7908	幼稚園・保育所への巡回検診も行っています。
[ 聴覚事業 ] 聞こえの検査、難聴の相談	029-241-7906	0歳から受け付けます。
[ 救急医療情報 コントロール事業 ] 救急医療機関の即時案内	029-241-4199	24時間体制です。急病の時はいつでもお電話ください。

ホームページでも詳細をご案内しております。アクセスをお待ちしております。

<http://www.infonavi.co.jp/~medical/>

メールアドレス [medical@infonavi.co.jp](mailto:medical@infonavi.co.jp)

## ごあんないマップ



**車** 常磐自動車道「水戸IC」から国道50号バイパスを国道6号方面へ約15分、北関東自動車道「茨城町東IC」から10分、「水戸南IC」から10分

**タクシー** 水戸駅南口のタクシー乗り場よりメディカルセンターまで通常7分位

**バス** 行き 「茨城交通バス」8番表示で払沢または本郷回り（千波循環路線）、「関東鉄道バス」で本郷・畑中循環または払沢・畑中循環行き  
 帰り 「茨城交通バス」及び「関東鉄道バス」の水戸駅の表示があるもの  
 所要時間 約20分

編集後記 日頃は当センターの事業に、ご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、前号から今号発刊まで間隔があいてしまいました事、深くお詫び申し上げます。今後は4月・11月の年2回発刊し、「健康で健やかな生活」のお役に立てる広報誌「IZUMI」を目指して参りますので、ご意見・ご要望を賜れば幸いに存じます。今号の特集記事は、「肺がん検診・婦人健診」を掲載いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。（市村記）

### 茨城県メディカルセンター 「IZUMI」No.21

発行所 水戸市笠原町489-4 〒310-8581  
 財団法人茨城県メディカルセンター  
 TEL.029-243-1111(代表)  
 FAX.029-243-1108

発行責任者 所長 柴崎 信 悟  
 発行日 平成15年1月20日